

6月 1日 ~ 15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/06/01 (金)	東京は中国利上げの噂などもあり一時円買いが優勢になる局面も見られたが続かず。徐々にじり安。欧米は発表された米経済指標が良好でドル買い優勢。オプション絡みの損切り巻き込み一時122円台。	・5月の米失業率4.5%、同非農業者雇用数15.7万人、同ISM製造業景気指数55.0、同シカゴ大消費者信頼感指数88.3、4月個人所得 0.1%、同個人消費0.5%、同コアPCE0.1%	・ボ-カス米上院委員「中国に人民元切り上げを迫る法案を数週間以内に準備完了の見通し」 ・中国利上げ、キャピタルゲイン課税実施の噂	121.75 122.14 121.71 122.08	163.84 164.15 163.57 164.15	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/04 (月)	東京は久しぶりの122円台と言うことで利食い売りなどに押されたものの122円後半では底堅く下げ渋り。欧米はアジアの上海株安に続き米株が弱含みとなったことでドル買えない。ボンドを含めた欧州通貨高。	・第1四半期法人企業統計13.6% ・中国当局は株価や不動産価格抑制策を近々発表するとの噂あり ・4月の米製造業受注0.3%	・伊当局者「G8は為替問題を協議する計画はない」 ・アルムニア欧州委員「ユーロ高は経済ファンダメンタルズを反映したもの」 ・仏大統領側近筋「仏大統領はサミットで為替への懸念表明」	122.02 122.12 121.55 121.77	164.04 164.36 163.89 164.27	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/05 (火)	東京は2日続落していた上海株が持ち直したこともあり円売りムード。ユーロ/円は史上最高値更新。欧米は強い目の経済指標が出たものの米FRB議長の弱気発言で影響は相殺された。	・EU財務相会合でキプロスとマルタのユーロ導入が承認される ・5月のISM非製造業景気指数59.7	・福井日銀総裁「市場の偏ったリスクの巻き戻し起こると経済に悪影響」 ・米FRB議長「住宅市場の不振は予想以上に長期化する可能性」 ・米財務長官「中国は為替レートについて出来ることがまだある」	121.60 121.94 121.12 121.40	164.06 164.62 163.90 164.17	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/06 (水)	東京は豪ドル主導の相場展開。利上げ見送りは予想通りながらGDPの好数字を受けて豪ドル一段高。欧米はユーロが買えない。ECBの金利据え置きは予想通りと見られたが終了後は失望売り優勢に。	・豪州が金利据え置き決定 ・第1四半期豪GDP1.6% ・4月の景気先行指数20.0% ・ECBが金利の据え置き発表 ・トルコ軍がイラクに侵攻したとの噂(のちに否定コメント)	・ECB総裁「金融政策は引き続き緩和的」 ・スワキ ECB専務理事「政策金利は歴史的な低水準」	121.43 121.50 120.87 121.08	164.15 164.40 163.25 163.51	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/07 (木)	東京は世界的な株価調整を受けて円キャリートレードの巻き戻し観測強まり円小じり安。欧米はスタート直後に北朝鮮絡みの報道でも大勢に影響なし。利上げ見送り失望でボンドが急落。	・NZが25BPの金利引き上げ ・南アフリカが50BPの金利引き上げ ・英国が金利据え置き発表 ・G8声明「振興経済国においては為替レートが必要な調整が進むように変動することが重要」	・韓国紙「北朝鮮が短距離ミサイルを発射した模様」 ・ハローズ欧州委員長「サミットで為替相場について協議した」	120.89 121.57 120.77 120.98	163.17 164.00 162.33 162.51	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/08 (金)	東京は弱い機械受注を嫌気し円売り優勢。しかし日経平均の下げがきつく、徐々に円はじり高に。欧米は発表された指標や発言を受けてドル買い優勢ムード。ただ終盤に掛けてはユーロの買戻しも。	・4月の機械受注2.2% ・4月の米貿易収支 585億ドル	・シカゴ連銀総裁「第2四半期の成長は第1四半期から大きく加速する」 ・独5賢人委リユールップ委員長「ECBの政策金利、ピークは4.5%」 ・IMF専務理事「ヘッジファンドに関するG8の討議を歓迎」	121.14 121.84 120.77 121.72	162.65 162.90 161.77 162.79	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/11 (月)	東京は予想外のNZ中銀介入を受けてNZドルが急落。対円でも2円近い下げを記録した。欧米はユーロが強く、ドルも小じり安。円は結果的に買えない展開でじりじりと下値を切り上げる展開に。	・NZ中銀が対米ドルで自国通貨売り介入動意 ・第1四半期GDP改定値0.8% ・米財務省が半期為替報告を6/13に公表と告知	・ECB総裁「ECBの政策は引き続き緩和的」 ・BOE総裁「インフレに対しさらなる行動を取る必要」 ・蘭中銀総裁「ECBの利上げサイクルはピークに達していない」	121.65 121.84 121.52 121.73	162.51 162.78 162.10 162.61	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/12 (火)	東京はレンジ内で揉み合い。中国CPIの強さに加え上海株の下落もあったが円買い続かず。欧米は米情報社の噂もありユーロが急落。対円ではストップロスを巻き込み100P近くも下落した。	・5月の国内企業物価指数0.5% ・5月の中国CPIは3.4% ・4月英貿易収支 63.16億ポンド ・米有力情報社がECB利上げについてハト派のレポート送信の噂 ・5月の米財政収支 677億ドル	・国家発展改革委「CPIが預金金利を上回れば利上げ必要」 ・NZ中銀総裁「NZドル高はファンダメンタルズに沿ったもの」 ・前FRB議長「世界金融市場における流動性の高まりは転換点近い」	121.77 121.86 121.60 121.70	162.58 162.72 161.83 161.89	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/13 (水)	東京は円独歩安。長らく抜けることなかった122.20円の年初来ドル高値を大きく更新してきた。欧米も円独歩安基調変わらず。強い米小売売上や米地区連銀報告もありドル買い・円売りが終始優勢。	・4月経常黒字1兆9865億円、同貿易黒字1兆342億円、同鉱工業生産確報値0.2% ・5月の米小売売上高1.4% ・米超党派4議員が人民元切り上げ促す法案提出	・米為替報告書「人民元は過小評価されているが為替操作国とは認定できず」 ・米地区連銀報告「12地区のほとんどで成長は緩やか、または強い拡大となった」	121.55 122.77 121.50 122.73	161.66 163.38 161.51 163.37	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/14 (木)	東京はオアシア通貨が買えない。豪ドル、NZドルとも軟調裡。一方で円も対ドルやユーロに対して弱含み。欧米は良好な米PPIを受けてドルが強含み。対円では123円台へ。一方利上げ休止発言からスイス軟調裡。	・スイスが政策金利を25BP引き上げ ・5月の米PPI0.9%、同コアPPI0.2%	・スイス中銀総裁「スイス中銀、金利の正常化はもう必要ない」 ・米財務長官「中国は人民元柔軟化のスピードを上げる必要」	122.58 123.13 122.55 122.92	163.13 163.80 163.11 163.63	24H 寄付 安値 高値 終値
07/06/15 (金)	東京は福井発言が予想よりもハト派的な内容だったことで円売り優勢。クロスを含めて円全面安。欧米は発表された米経済指標は弱いものが多くドル買いにくい雰囲気。結果ユーロの一人勝ち。	・4月の第3次産業活動指数1.7% ・日銀が政策金利据え置き決定 ・5月米CPI0.7%、同鉱工業生産0.0%、同設備稼働率81.3、6月NY連銀指数25.75、同シカゴ大指数83.7、4月対米証券投資841億ドル	・日銀総裁「政策判断には経済確認事項がまだ多い」 ・SF連銀総裁「キャリートレードは投資家にとってリスク」	123.05 123.66 122.92 123.45	163.78 165.28 163.69 165.27	24H 寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで